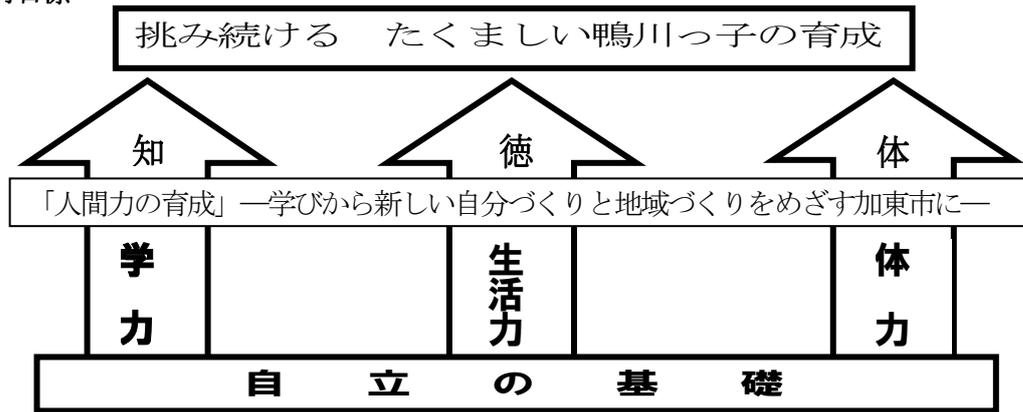


平成31年度 鴨川小学校 学校経営方針

1 学校教育目標



2 基本方針

学校は、社会を担っていく人材を育てる場所である。これからの社会は、ともに生きていくための**人との関わり合い**と、困難に**立ち向かい粘り強く続けていく姿勢**がより重要となってくる。また、来る小中一貫学校の開校を視野に入れ、義務教育9年間の学びを通して自立した子どもの育成を考えると、**小学校としての役割は自立の基礎を培うこと**である。そして、**自立の基礎を「学力（知）」・「生活力、社会性（徳）」・「体力（体）」の3本柱と捉え、これらを併せもつたくましさ**を身につけた鴨川っ子を育てていく。

本校には、「豊かな地域資源・極小規模・複式学級」という特色があり、それゆえの利点と課題の両面を併せ持っている。そこで、**利点を最大限に活かし、課題を工夫により克服することで教育活動の活性化を更に図っていく**。そして学校・家庭・地域が**連携・協働しながら「知りたい、考えたい、やってみたい」という挑み続ける子どもたちの学びを支えていく**。

【鴨川の教育の原拠】

- ① 子どもは自然の中で育つ
- ② 子どもは人と人とのぬくもりで育つ
- ③ 子どもはふるさとの文化と伝統で育つ
- ④ 小さな学校の大きな経営で育つ

3 めざす学校像

- ともに育ち伸びる学校
- 学ぶ楽しさが味わえる学校
- ふるさとに学び、地域と共にある学校
- 【成長を積み重ねる学校】
- 【学び合う学校】
- 【開かれた学校】

4 めざす児童像（卒業時の姿）

- 表現する子
- 支え合う子
- 続ける子

5 めざす教職員像

- 愛情を注ぐ（使命感・責任感）
- 向上する（実践的指導力・研鑽）
- 信頼される（連携・協働）

※ 同僚性から協働性に向かう職員集団 ※ 一目標に向かって対話と生成の関係一

6 経営の重点 ※評価検証を活かした小さな一步一步の積み上げが更に充実した教育活動を生成する※

(1) 「豊かな地域資源（自然、歴史、文化等）」を活かして、ふるさと意識の醸成を図る。

○ふるさと学習等の体験活動を通して、ふるさとを愛し誇りに思う気持ちを育て、鴨川のよさを地域に発信するための手立てを工夫する。

○地域の支援者の確保や地域素材（ひと・もの・こと）に関する情報収集に努め、地域とつながる活動を推進する。

(2) 「極小規模」の利点を活かして、確かな学力の育成を図る。

○基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図り、個に応じたきめ細かな指導を推進する。

○児童が考え、判断し、表現する授業づくりを行う。

(3) 「複式学級」の利点を活かして、主体的に学び合う態度の育成を図る。

○全校児童のフリートーク等により、話し合いの楽しさを共有させるとともに、話し合う力の質的向上を図る。

○学び合いを組織した高まり合う学習を進める。

(4)「交流教育」を推進して、人とかかわる力を育てる。

○G Tや専門家との交流体験や他校との交流学习を積極的に行い、学校生活や学習環境の充実を図る。

○様々な立場の人との交流機会を意図的・計画的に設定し、互いを認め合いながらともに生きる態度を育てる。

(5) 特別活動を活性化し、よりよい学校生活や人間関係を築こうとする態度を育てる。

○生活班などの異年齢集団活動の活性化を図り、互いの良さを認め合い、それぞれのよさを伸ばす。

○全校児童が「ふるさと太鼓」に参加し、鴨川っ子の心意気を力いっぱい発揮することで、集団の一員としての参画意識を養う。

(6) 表現する力を伸ばし、健やかな体と豊かな心を育てる。

○各教科等における表現活動（音声・身体）の取組を充実させ、表現する場づくりを積極的につくる。

○食育や健康教育の充実を図り、健康な学校生活を送るための取組を進める。

(7) 環境の充実に努め、安全安心の学校づくりを推進する。

○学びの足跡が見える掲示物の計画的な掲示に努める。

○危機管理能力（「自分の身は自分で守る」）の向上を図る取組を進める。

(8) 家庭や地域と連携した共育作戦を推進する。

※学校と家庭で共通の約束事を設定し、子どもの育ちについて教育観を共有する。

○よりよき生活習慣や規範意識を実践する生活力（社会性）を身につける。

・「あいさつ」・・・気持ちのよいあいさつができる子に

「返事」・・・名前を呼ばれたら「はい!」とはっきり返事ができる子に

・「言葉遣い」・・・自分が言われてうれしい言葉が言える子に

・「給食」・・・ルールを守り、食べ残しをしない子に

○学校と家庭が連携して家庭学習（自主学習も含む）の定着と読書活動の推進を図る。

(9) 教職員の勤務時間の適正化に向けた取組を推進し、教育活動の更なる充実を図る。

○教職員定時退勤日を完全実施する。（毎週木曜日、最終退校時刻18時）